



オープンAI社のサービス、GPTsを利用し、弱視児の読み書きの指導に焦点化したカスタムチャットボットを作りました。このツールを使えば、チャットを通じて橋詰先生の指導のノウハウにアクセスできます！

橋詰先生の生成AI指導支援ツール ：「弱視児の読み書き指導」 ver3

- 研究活動名 「AIを活用した働き方改革の推進に係る研究」
- 研究組織 北海道札幌視覚支援学校研究研修部・道視研研究チーム
※北海道鷹栖養護学校 橋詰郁朗先生から資料の提供等ご協力をいただきました。
- 研究目的 生成AIという新たな技術に親しみ、その利便性や懸念点、効果的な活用の仕方等を知ること、業務や教育活動において適切に活用する素地を作る。
- 使用方法 次のリンク及びQRコードから使用できます。
<https://x.gd/gVUdB>
※本取組に伴い金銭等の利益を一切受けておりません。
※北海道視覚障害教育研究会研究活動として、令和7年3月31日まで、本カスタムチャットボットの使用が保証されています。
- 紹介映像 次のリンク及び右のQRコードから本チャットボットについての紹介映像をYouTubeで視聴いただけます。
<https://youtu.be/vzjV8dPOOuY>
- アンケート ご利用に際し、次のリンクか右のQRコードから、アンケートへの協力をお願いいたします。
<https://qr.paps.jp/dTSB2>



橋詰先生のAI指導支援ツール：「弱視児の読み書き指導」

子どもには得意な学び方が必ずあります。頑張るべきは「子ども」ではなく、「教師」なのかもしれません。共に学び、一緒に頑張りましょう！

By community builder

- お問い合わせ：北海道札幌視覚支援学校研究研修部
E-mail: satsushi-kenkyu@hokkaido-c.ed.jp